

議題 1

5 歳児健康診査令和 7 年度実績報告及び令和 8 年度口腔機能発達検査中間報告

1 5 歳児健康診査について

(1) 目的

幼児期において幼児の言語の理解能力や社会性が高まり、発達障がい認知される時期であり、保健、医療、福祉による対応の有無が、その後の成長・発達に影響を及ぼす時期である 5 歳児に対して健康診査を行い、子どもの特性を早期に発見し、個々に合わせた適切な支援を行なうとともに、生活習慣、その他育児に関する指導を行い、幼児の健康の保持及び増進を図る。

(2) 実施内容

- ①事前情報共有 ②受付 ③問診 ④身体計測 ⑤医師診察
⑥運動発達 ⑦結果説明、個別相談 ⑧事後カンファレンス

(3) 受診者数(受診率)

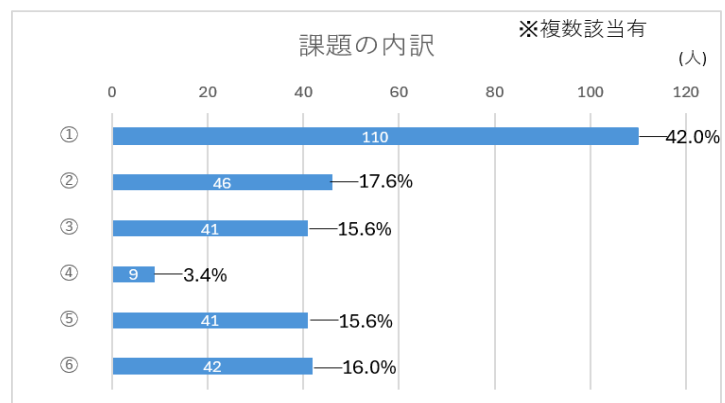
878 人/948 人(92.6%)

(4) 支援が必要と判断された児

262 人/878 人(29.8%)

(5) 支援対象児に認められた主な課題の内容(重複あり)

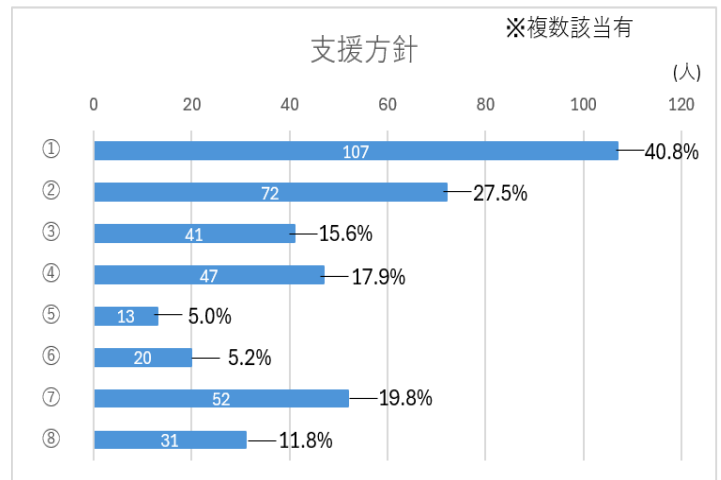
- ① 対人面の課題：110 人
② 行動面の課題：46 人
③ 理解面の課題：41 人
④ 言語面の課題：9 人
⑤ 運動面の課題：41 人
⑥ その他：42 人



健診時の所見に加え、保護者からの聞き取りや所属園からの情報を通して把握されたこれらの課題は、他児との関わりの困難さや落ち着きのなさ、活動の切り替えの困難さといった集団生活の中で顕在化しやすい内容が多く含まれている。

(6) 支援方針(重複あり)

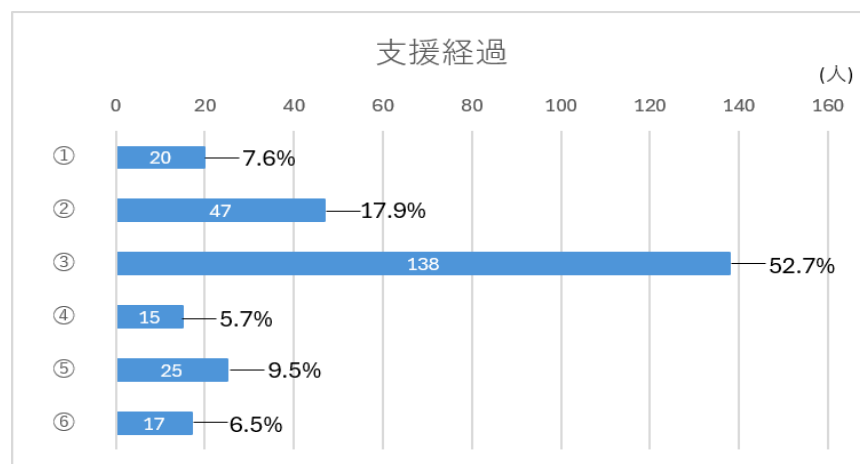
①臨床心理士による相談	: 107 人
②地区担当保健師支援	: 72 人
③運動発達相談	: 41 人
④療育による継続支援	: 47 人
⑤精密検査(精神発達)	: 13 人
⑥学校教育課との連携	: 20 人
⑦所属園との連携 (5歳児健診連携シート)	: 52 人
⑦その他 (連絡待ち・拒否)	: 31 人



5歳児健診では、保護者とともにこどもの特性や集団生活での様子を共有しながら、就学を見据えた支援の方向性を整理している。

(7) 支援経過

①5歳児健診で初めて支援が必要と判断された児	: 20 人
②経過観察から支援が必要と判断された児	: 47 人
③再度支援が必要と判断された児	: 138 人
④既存支援を踏まえ再度整理が必要な児	: 15 人
⑤支援が安定している児	: 25 人
⑥その他(転入で経過不明)	: 17 人



5歳児健診は、新たに支援が必要な児を把握する機会であると同時に、就学を見据え、これまでの支援を整理する機会にもなっている。

2 口腔機能発達検査令和8年度中間報告（4月～6月）

（1）目的

5歳児ごろは、乳歯列が完成し永久歯への生え変わりが始まるとともに、食べる、話す、呼吸するなどの口腔機能が発達する重要な時期である。口腔機能が十分に発達していない状態では、歯並びやむし歯、感染症等のリスクを高め、全身の成長・発達に影響を及ぼす可能性があることから、5歳児健診において口腔機能発達検査を実施し、口腔機能の発達状況を早期に把握するとともに、必要な保健指導や受診勧奨を行い、幼児の健やかな成長及び将来の健康の保持増進を図る。

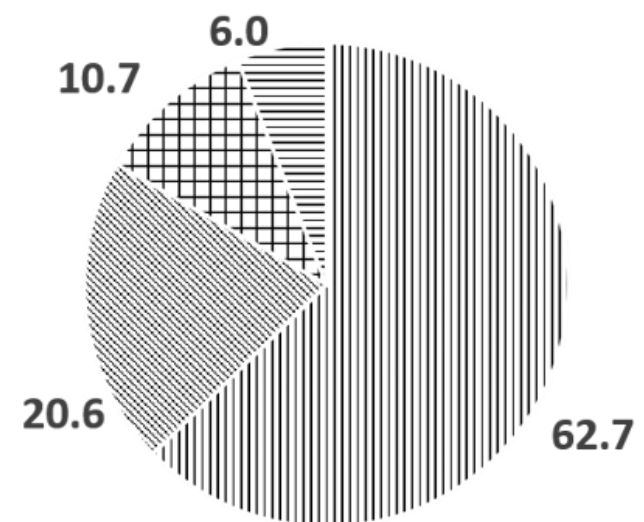
（2）検査内容

- ①紙に息を吹きかけることができるか
- ②空気でぶくぶくうがいができるか
- ③正常に唾液の飲み込みができるか
- ④「さくら」「さきました」の発音ができるか

上記4項目及び問診項目「口呼吸がある」「ぶくぶくうがいができない」の内、1つでも該当する場合は要精密検査とする。

（3）判定結果内訳（令和8年4月～6月）

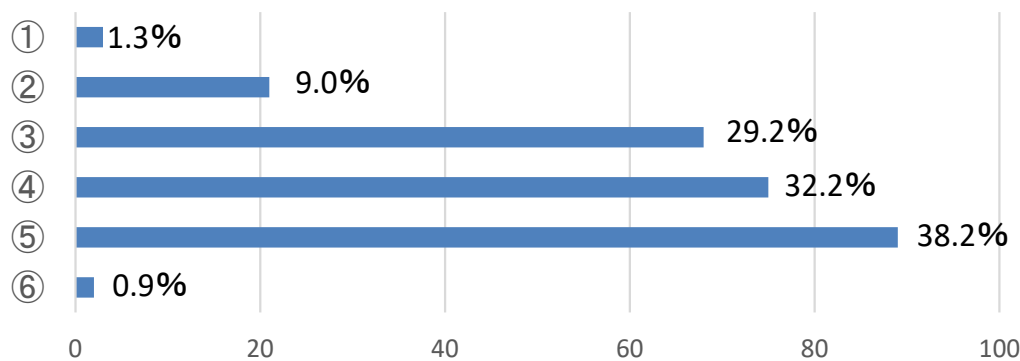
受診者数	233人
異常なし	25人
要指導	48人
要精検	146人
測定不可だった者	14人



■ 要精検 ※ 要指導 ▨ 異常なし = 判定不可

(4) 検査項目所見あり該当者数及び問診項目該当者数(重複あり)

①紙に息を吹きかけることができるか	3 人
②空気てぶくぶくうがいができるか	21 人
③正常に唾液の飲み込みができるか	68 人
④「さくら」「さきました」の発音ができるか	75 人
⑤問診項目「口呼吸がある」	89 人
⑥問診項目「ぶくぶくうがいができない」	2 人



健診時の所見及び保護者からの聞き取りで多く見られた嚥下機能、構音機能及び口呼吸など、口腔機能に関する課題は、むし歯や歯並び等の口腔内への影響だけでなく、栄養摂取やコミュニケーションなどの身体・精神の発達にも関係している。

(5) 精密検査該当者へのフォローアップ体制

① 歯科医療機関受診勧奨

かかりつけ歯科医または小牧市歯科医師会ホームページにて公開している口腔機能発達不全症に係る診察・相談対応可能歯科医療機関を案内

② 保健センターでの対面及び電話相談

- ・ 定例歯科相談（毎週月曜日）
- ・ 歯科電話相談（随時）
- ・ にこにこむし歯予防教室（月 1 回月曜日午前中）

5 歳児健診における口腔機能発達検査は、児と保護者が口腔機能の発達状況を知り、必要な受診や機能改善につなげる機会となっている。